

ラジオタク・平和交通 乗務員23人認定

需要回復へ胸膨らませ

横浜観光コンシェルジュの会

3年ぶり開催



馬場代表(前列右から3人目)、新井発起人(同左隣)、中原講師(同)を囲み記念撮影に臨む「横浜観光コンシェルジュ」認定乗務員(5日)

横浜で観光ガイドができる乗務員の養成を目指し、神奈川県旅客自動車協組(ラジタク)と大手の平和交通が組織する「横浜観光コンシェルジュの会」は5日、第3期生5社23人の認定式を横浜市の大栄交通本社で行った。

2019年、2020年に第1、2期生各20人を認定後、コロナ禍で中断。3年ぶりに再開した。現地を歩く実習を含む半年間で15回計40時間超の講座を受け、修了検定に合格した認定乗務員は、戻りつつある観光需要への期待に胸を膨らませ、利用客への「横浜の魅力」をアピールした。

同会の馬場正治代表(神奈川県旅客自動車協組代表理事、サンタクシー社長)は「世界の観光地で人気度が高いのは、街の人が親切、2番目にタクシー運転者が親切なこと。皆さんの案内がいかにより重要か。横浜に来る人が楽しく過ごせるよう学びの実行を」と期待し、修了証と金色のネームバッジを一人ずつ手渡した。

責任講師を務めた観光タクシーの第一人者で横浜シティガイド協会会員の中原一浩氏(横浜個人タクシー協組副理事長、大栄交通出身)は受講生の半年間の努力をねぎらい、「(実地研修で)現場に立つことで利用客の目線で観光をリードする役割が分かったと思う。金のバッジに誇りを持ち、最初は恥をかいても楽しく成長を。今日がスタートですよ」と激励した。

同会発起人を代表し、平和交通の新井義弘社長は発起人の「観光を勉強する有志の会」に参加し、「横浜発信で業界が盛り上がり、ひいては職業的認知を上げることに間違いなくつながる」と今後の活躍にエールをおくった。



関東支局

東京都新宿区新宿 2-13-10
電話 03(3352)2182
FAX 03(3352)2186
Eメール shuto@toukou-np.co.jp

関東運輸局管内の7県の情報を報道しています。